



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	TERSUS® IN
製造元	
会社名	信越化学工業株式会社
住所	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-1
連絡先	塩ビ・高分子材料研究所
電話番号	0299-96-3414
ファックス番号	0299-96-2550
緊急連絡先	0299-96-3414
推奨用途及び使用上の制限	
使用上の制限	一般工業用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
(シリカ・酸化チタン水溶液)

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
水	7732-18-5	対象外	対象外	99.34
非結晶性シリカ	7631-86-9	(1)-548	(1)-548	0.33
酸化チタン	13463-67-7	(1)-558	(1)-558	0.33

化審法；全成分登録済保証。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。 必要な場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹸と水で洗うこと。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤	本品は不燃性。 現地の状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	加熱および火災により有害な粉塵が生成されることがある。
特有の消火方法	もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。 流出水は環境に有害性の懸念あり。
消火を行う者の保護	消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。 流出物質に触ったり、踏んだりしない。 閉鎖された場所に入るときは事前に換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、流出防止の措置をとる。 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 大量の漏出：危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は漏出物が広がるのを防止すること。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。パーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

少量の漏出：布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

元の容器に回収して再使用することは絶対に避けること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。取扱い/保管は慎重に行うこと。適切な保護具を着用する。環境への放出を避けること。排水路に流してはならない。皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露を避けること。

接触回避 『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な衛生対策 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生および安全対策のもとに取扱う。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。子供の手の届かないように保管すること。直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。（品質上の保管温度：1 - 25℃）凝固するのを避けるため0℃以下で保管しないで下さい。

安全な容器包装材料 元の容器で保管する。本品は水を含有しております。従いまして、金属製の容器に長期保管した場合は、容器が腐食する可能性がありますのでご注意ください。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
酸化チタン (CAS 13463-67-7)	TWA	4 mg/m ³	総粉塵
		1 mg/m ³	吸入性粉塵
		0.3 mg/m ³	

ACGIH

成分	タイプ	数値
酸化チタン (CAS 13463-67-7)	TWA	10 mg/m ³

設備対策

適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 作業者が暴露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。防塵フィルタ付き呼吸具を着用すること。

手の保護具 保護手袋を着用すること。

目の保護具 側板付安全眼鏡（またはゴーグル）を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状 液体

色 褐色 半透明

臭い 無臭

pH 7 - 9.5

融点 / 凝固点 0 °C (32 ° F) [水]

沸点、初留点と沸騰範囲 100 °C (212 ° F) [水]

引火点 該当せず

自然発火温度（発火点） 該当せず

燃焼又は爆発範囲－下限 該当せず

燃焼又は爆発範囲－上限 該当せず

蒸気圧 3.2 kPa (25 ° C) [水]

蒸気密度 該当せず

蒸発速度 < 1 (酢酸ブチル=1.0)

比重（相対密度） 1.04 (25 ° C)

溶解性（水） 分散

n-オクタノール／水分係数	該当せず
分解温度	データなし
粘度	データなし
分子量	該当せず

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、輸送条件下で起こる既知の危険な反応はない。
化学的安定性	通常条件では安定。
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	禁水性物質。
危険有害性分解生成物	知見なし。

11. 有害性情報

成分	種	試験結果
酸化チタン (CAS 13463-67-7)		
急性 経口 LD50	ラット	10000 mg/kg
非結晶性シリカ (CAS 7631-86-9)		
急性 吸入 LD50	ラット	> 200 mg/m ³ /hr
経口 LD50	ラット	3160 mg/kg
経皮 LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	陰性(ラット)	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	MILD(ラット)	
発がん性		
ACGIH発がん性物質		
酸化チタン (CAS 13463-67-7)		A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
IARC発がん性評価モノグラフ		
酸化チタン (CAS 13463-67-7)		2B ヒトに発がん性の可能性がある。
非結晶性シリカ (CAS 7631-86-9)		3 ヒトへの発がん性を分類できない。
その他の情報	下記原料は労働安全衛生法の表示対象物質ですが、GHS分類の基準では分類される危険有害性を有しません。ただし、分類がないことは慢性的な吸入ばく露での何らかの有害性のおそれを否定するものではありません。 酸化チタン。	

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
------	-------

13. 廃棄上の注意

地域の廃棄規制	焼却処理。その際、シリカ、酸化チタンの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の保護具の着用をお願い致します。 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水や給水設備に流さないこと。 内容物／容器を地域／地方／国／国際規則に従って処理すること。
---------	--

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA	危険物には該当しない。
------	-------------

IMDG	危険物には該当しない。
------	-------------

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

国内規制

本製品は、ばら積み輸送用ではありません。
国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

特化則

- 第一類物質
該当せず
- 第二類物質
該当せず
- 第三類物質
該当せず

有機則

- 第一種有機溶剤
該当せず
- 第二種有機溶剤
該当せず
- 第三種有機溶剤
該当せず

通知対象物

酸化チタン(IV)

0.10 - 0.50 %

表示対象物

該当せず

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず

毒物

該当せず

劇物

該当せず

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず

第二種特定化学物質

該当せず

監視化学物質

該当せず

優先評価化学物質

該当せず

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず

消防法

非危険物

船舶安全法・危規則

該当せず

航空法・施行規則

該当せず

火薬類取締法

該当せず

高压ガス保安法

該当せず

海洋汚染防止法

該当せず

16. その他の情報

引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252:2014 GHSに基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成致しました。本記載内容は代表値であり、規格、および保証値を示すものではありません。また、推奨される産業衛生措置および安全な取扱い方法は、通常取扱いにおいて適用した方がよいと思われる内容を記載しておりますので具体的な用途や取扱い条件に照らして、推奨事項が適切かどうかご検討の上ご判断頂くようお願い致します。

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行ない、当該用途に使用する事の安全性をご確認の上ご使用ください。医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

版番号

01

改訂日

2017/11/16